

細島港

細島港の概要

県北部に位置する細島港は、“東九州の物流拠点”として本県産業を支える港である。コンテナ航路が6便/週（韓国航路、中国航路、台湾航路、神戸航路）、RORO船航路が4便/週（大阪航路、東京航路）就航しており、東九州の物流拠点として重要な役割を担っている。

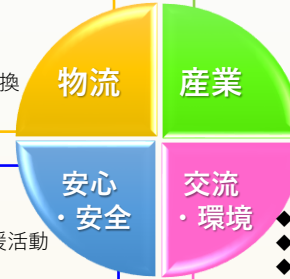
将来像

宮崎の物流と産業を支え、安全・安心と潤いで満たされた東九州のみなと 細島
 ～背後地域産業の発展を支えていく物流・生産の一大拠点、細島港～
 ～災害に強く、市民の暮らしと企業活動を支える防災拠点、細島港～
 ～豊かな地域資源を生かし、県北地域の交流拠点、細島港～

主な施策

- ◆ 国際海上コンテナ輸送、内航複合一貫輸送網のネットワーク強化
- ◆ 効率的な港湾利用への転換
- ◆ 大型バルク船への対応

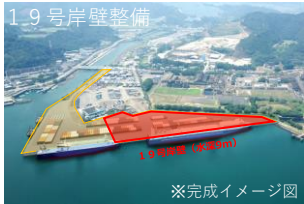
- ◆ 地震・津波対策の推進
- ◆ 発災時の物資輸送・救援活動拠点としての機能強化



- ◆ 産業を支える港湾の整備
- ◆ 漁船対策の推進による地域水産業の振興

- ◆ プレジャーボート対策の推進
- ◆ 魅力ある親水空間の整備
- ◆ 周辺観光資源とのネットワーク形成

- ◆ 19号岸壁の整備 (R4～R8予定)
- ・ 大型化するRORO船に対応
- ・ 内貿ユニットロード機能の強化
- ・ ヤード不足の解消



※完成イメージ図



HAKKOひなた(R2.2就航)

- ◆ 16号岸壁の整備 (R1～R5予定)
- ・ 原木の輸出に対応
- ・ 効率的な港湾利用



チップや製材品を毎日国内各工場へ出荷



◆ 18号岸壁及びびふ頭用地整備

◆ 国際物流ターミナル (H27.6供用開始)

◆ 余島防波堤津波対策 (R3完成)

◆ コンテナターミナル電源高上げ (R3完成)

◆ 北沖防波堤 L=450m (H29完成)

◆ 南沖防波堤整備 (～R9予定)
◆ 津波対策 (R6～R7予定)

◆ 津波避難施設の整備
・ 避難路、広場の整備 (H30完成)



避難訓練状況

◆ 上屋等改修 (H30完成)
・ クルーズ船受入体制整備

◆ 商業港区の活性化・緑地の整備 (R2～R5予定)



地区名	施設名	水深 (m)	延長 (m)	幅員 (D/W)	ハ一尺数	延床面積
工業港	①工業港1号岸壁	-10.0	140	10,000	1	S38
	②工業港2号岸壁	-10.0	220	10,000	1	S45
	③工業港3号岸壁	-5.5	180	2,000	2	S40
	④工業港4号岸壁	-5.5	180	2,000	2	S40
	⑤工業港5号岸壁	-7.5	130	5,000	1	S45
	⑥工業港6号岸壁	-10.0	185	10,000	1	S45
商港	⑦工業港8号岸壁	-5.5	90	2,000	1	S53
	⑧工業港9号岸壁	-7.5	260	5,000	2	S53
	⑨工業港10号岸壁	-10.0	185	10,000	1	S55
	⑩工業港11号岸壁	-6.5	110	3,000	1	S27
	⑪工業港12号岸壁	-4.5	180	700	3	H97
	⑫工業港13号岸壁	-5.5	180	2,000	2	S97
	⑬工業港14号岸壁	-13.0	260	40,000	1	H11
	⑭工業港15号岸壁	-7.5	130	5,000	1	H12
	⑮工業港16号岸壁	-13.0	260	40,000	1	H28
	⑯工業港17号岸壁	-7.5	250	5,000	2	H8
商業港	⑰商業港1号岸壁	-4.5	540	700	9	H13
	⑱商業港2号岸壁	-7.5	250	5,000	2	H8
	⑳商業港3号岸壁	-4.5	180	700	3	H4
	㉑商業港4号岸壁	-4.5	180	700	3	H4
工業港	㉒工業港19号岸壁	-9.0	340	13,000	1	S40
	㉓工業港20号岸壁	-7.5	180	5,000	1	S40
	㉔工業港21号岸壁	-4.5	110	200	2	S40
白浜	㉕工業港18号岸壁	-10.0	170	12,000	1	S40
	㉖工業港19号岸壁	-15.0	300	70,000	1	S40

凡例

- 物流
- 産業
- 安心・安全
- 交流・環境